

さくら農園部長

小野裕次（おの ゆうじ）



東京都出身。東京農業大学農業工学部卒業。在学中は、探検部に所属し、山登り、川下り、洞窟（ケービング）などに没頭しながら、有機農業を志す。以来、アジア放浪などを

ながら、有機農業に携わり、志を大切に持ち続けている。

10年前、さくら診療所代表兼 TICO 代表の吉田修氏に出会い、その後、農園スタッフとなり、現在は、米・麦・大豆や多品目野菜、果樹（柑橘類）を栽培。農業技術には定評があり、特に葉ものは絶品。すいかや柑橘類なども栽培している。

さくら農園スタッフ

入倉真佐子（いりくら まさこ）

長野県出身。東京農業大学農業拓殖学科卒業。大学時代にブラジル、ボリビア、ペルーにて研修。広島県福山市役所のポルトガル語スペイン語対応の外国人相談員として 20 年間勤務し、外国籍労働者を支援する市民運動団体「ワールドシップ」事務局長を務めていたが、思うところあって 2011 年 6 月にさくら農園に入社し、農業の世界に飛び込む。持ち前の「当たって砕ける！」精神で無我夢中の毎日。趣味はマラソンで、アスリート系ファーマーを目指す。



さくら農園 生産者プロフィール

さくら農園は、さくら診療所の患者さまや職員の食材を提供するために始まった農園でした。けれども、もっとたくさんの方たちにも、安全でおいしい季節の野菜を食べていただき、自然環境を持続するための私たちの取り組みを知っていただきたいと、「Plan B」のさくら農園として、新たな一歩を 2011 年 3 月に踏み出しました。

農園の生産者の横顔をご紹介します。

さくら農園創始者・医師兼業生産者 （さくら診療所代表及びTICO代表） 吉田修（よしだ おさむ）

徳島県出身。アフリカをはじめ、世界各国で地域密着型の国際医療支援活動を行っている。農園近くのさくら診療所の理事長として、24 時間態勢で地域の医療



を担いながら、さくら診療所で提供される食材となる野菜を栽培している。主に早朝、夕方、休日などは畑で農作業にいそしむ姿が見られるが、急患で呼び出される事も度々。また、アフリカやアジアで保健医療・農村開発などの分野で国際支援活動を行っている NPO 法人 TICO の代表として活動し、各地での講演なども行っている。

さくら農園の多彩な果樹、多品目の野菜、米、多種の麦、雑穀などなどを栽培し、特に、麦やズッキーニには定評があり、「ズッキーニ名人」とも呼ばれ、麦は新進スイーツメーカーから注文も受けるほど注目されている。徳島からグローバルな視点で、地に足をつけて医療や国際協力にも活躍しながら、多品目の野菜や果樹で季節を楽しませてくれる医師兼業生産者。

各界から注目されるすごい人なのに、畑に入っている時は、癒し系のおじさまとなる。

